



充電インフラ整備に関する事例集

目次



事例No.1 アーバンラフレ鶴舞公園 1

事例No.2 ザ・スクエア国府宮 2

事例No.3 野田マンション 3

事例No.4 レゾンシティ南岡崎 4



事例No.5 株式会社鈴木文具 5

事例No.6 日東工業株式会社 瀬戸工場 6

事例No.7 八洲建設株式会社 7



事例No.8 豊田市役所 足助支所 8

事例No.9 道の駅 とよはし 9



事例No.10 三河湾国定公園 三谷温泉 平野屋 10

事例No.11 瑞穂公園 第1駐車場地上部 11

事例No.1 アーバンラフレ鶴舞公園

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

EVユーザーにとっては、**自家用車を日常的に使用している駐車場で充電できることが重要です。**
賃貸住宅においても、EVユーザーは増えていくと考え、充電器が無いという理由で入居を諦める方がいないよう、充電器の設置を決めました。（不動産管理会社 ご担当者様）



事例情報



ポイント

設置

運用

目的・きっかけ	◆ 賃貸住宅の入居者においても、今後EVユーザーが増加していく傾向にあると考え導入。	◆ 賃貸住宅の入居者にとって、充電場所の確保は課題。 自宅充電ができることは物件のアピールポイントとなる。
主な関係者	◆ 不動産オーナーが設置を決定。 ◆ 充電サービス提供会社が設備を所有し、利用料金を徴収。	◆ 賃貸住宅は不動産オーナーが設置を決めるため、 入居者目線に立って設置を検討することが重要。
場所の選定	◆ 空きがあった屋上の区画では無く、 EVユーザーの利便性を考慮し、屋根付き部分に設置。	◆ 稼働率向上のためには、 駐車場として利用しやすい区画への設置が重要である。
期間・コスト	◆ 検討から1年以内に設置。 ◆ 設置費：約910万円 ◆ 補助金：国 約885万円	◆ 補助金制度活用のため、 補助金公募時期を考慮し、計画を検討する。
留意点	◆ 補助金の補助対象上限基数に合わせ、設置計画を変更。	◆ 補助金制度を最大限活用するために、 設置費総額及び基数に留意する。
料金の設定	◆ 電力量に応じた月額定額制（超過分は電力量に応じ、従量課金） ◆ 利用料の徴収及び電気代支払いは充電サービス提供会社が実施。	◆ 従量課金制の場合、 充電量に応じて課金されるため、利用者の安心を確保できる。
日常の維持管理体制	◆ 設備の定期的なメンテナンスは不要。 ◆ 充電サービス提供会社が 24時間365日のコールセンター を提供し、システム上にて常時監視や漏電を感知。	◆ 機器故障の頻度が低くても、 車両側の要因によるトラブルが発生する可能性があるため、迅速かつ常時対応可能な問合せ窓口があるとよい。
トラブル対策	◆ 充電待ちリスク回避 のため、共用でなく個別設置（各区画の契約者専用）の充電環境を構築。	◆ 共用の場合、 充電後の車両移動が利用者にとって手間 となるため、使いやすさを重視するとよい。



施設基本情報

アーバンラフレ鶴舞公園

名古屋市中区千代田3丁目32

【施設形態】	既築・賃貸
【設置時期】	2024年4月
【設置場所】	自走式立体駐車場
【充電器の種類】	普通充電（3.2kW）20基
【利用可能時間】	24時間（入居者のみ）
【駐車場区画数】	93区画

事例No.2 ザ・スクエア国府宮

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

EV・PHVに対する情報は浸透していない面もあり、施設への充電器の設置に対し、判断に迷われる方もいます。集合住宅における合意形成にあたっては、**EV・PHVの基本情報について、入居者に十分に周知することも重要であると考えます。**（施工会社 ご担当者様）



事例情報



ポイント

設 置	目的・きっかけ	◆ 将来的に入居者からEV・PHVユーザーが現れた場合の、 事前の対策として充電器の導入を検討。	◆ 集合住宅では、 入居者との合意形成や区画の確保に時間を要するケースが多く 、早期に充電器の導入を検討することが有効である。
	主な関係者	◆ 理事会（施工会社同席）で協議。 ◆ 入居者の意見を広く募るため、総会の前に、入居者に対し事前アンケートを実施。	◆ 説明会や事前アンケート等、 総会に諮る前に入居者に周知することで、整備への理解を促す とよい。
	場所の選定	◆ 複数あるバイク駐車場のうち1箇所とその周辺の植栽を撤去し、増設した駐車区画に設置。	◆ 区画移動のルール整備が困難な場合 、敷地に余裕があれば、 駐車区画を新たに増設する 手段もある。
	期間・コスト	◆ 検討から1年半で設置。 ◆ 設置費：約700万円 ◆ 補助金：国 約300万円	◆ 入居者との合意形成や補助金の活用には専門的な知見や幅広い情報が必要となる。 計画段階から設置事業者と連携 することで提案や相談を受けながら進められる。
	留意点	◆ 入居者との合意形成のため、 EV・PHVの基礎情報を提供し、車両の電動化に対する理解を促進。	◆ EV・PHVの普及動向、自宅充電の必要性等、 入居者の不安や懸念に対する対応策や情報を整理して伝える ことが重要である。
	料金の設定	◆ 電力量に応じた月額定額制 （超過分は電力量に応じ、従量課金）。 ◆ 利用料の徴収及び電気代支払いは充電サービス提供会社が実施。	◆ コストの試算がしやすい明確な料金体系 を採用することで、EV・PHVの導入・利用促進につながれると思う。
運 用	日常の維持管理体制	◆ 維持管理に関する使用細則 を制定。 ◆ 施工会社から 雛形を提供し 、管理組合にて作成。	◆ 使用細則の制定には総会の議決を要するため、充電器の 設置要否の議論と並行して運用ルールの議論 も必要となる。
	トラブル対策	◆ 充電器の共有はトラブルが生じやすい ため個別設置（各区画の契約者専用）の充電環境を構築。	◆ EV・PHV利用者数を把握した上で、充電器が足りる場合は 個別設置 とすると使いやすい。



施設 基本情報

ザ・スクエア国府宮

稲沢市長野1丁目4-1

【施設形態】	既築・区分所有
【設置時期】	2024年10月
【設置場所】	平面駐車場（屋外）
【充電器の種類】	普通充電（3.2kW）8基
【利用可能時間】	24時間（入居者のみ）
【駐車場区画数】	382区画

事例No.3 野田マンション

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

集合住宅は、充電器が未だ普及途上であり、**充電器の設置により差別化できると考えます。**
行政が集合住宅の充電器の導入を支援し、補助金が広く高く設定されているタイミングで、設置できるとよいでしょう。（野田マンション オーナー様）



事例情報



ポイント

設置

運用

目的・きっかけ	◆ リフォーム等と比較し 低コストでマンション価値向上を図る 良い方法だと感じ、導入。	◆ EVユーザーの入居者の満足度向上だけでなく、 低コストで住宅価値の長期的向上 を実現する手段となる。
主な関係者	◆ マンションオーナーが設置を決定。 ◆ 導入から運用までトータルサポートを行っている充電器メーカー に相談。	◆ 設置場所・台数・出力数の相談から 導入支援を受けられる専門業者も多く、効率的に設置を実現 できる。
場所の選定	◆ 配電がしやすい区画 を選定。 ◆ 元々駐車場区画は十分あるため、駐車場の移動に伴う入居者とのトラブル無し。	◆ 設置区画は配電等の都合で制約が生じやすく、駐車場利用者との交渉が必要 になるケースもある。
期間・コスト	◆ 検討から1年余り で設置。 ◆ 設置費：約153万円 ◆ 補助金：国 約112万円 / 県 約7万円	◆ 設置箇所の選定や配電の状況確認等を事前に行う ことで、設置段階での不測のトラブルを防ぐことができる。
留意点	◆ 事業継続性を踏まえた充電サービス提供会社の選定 。 ◆ 補助金申請のための書類作成。	◆ 充電サービス提供会社は多数あり、それぞれ料金体系や決済方法等が異なるため、情報収集を大切にする。 ◆ 補助金申請時に、補足資料を求められる場合があるので、留意する。
料金の設定	◆ 充電時間に応じた月額定額制（超過分は電力量に応じ、従量課金）。 ◆ 充電サービス提供会社が 利用者からサービス料金を回収し、管理者に充電器利用分の電気代を返金 。	◆ 充電サービス提供会社と利用者が直接契約することで、管理者が 料金徴収や精算業務の負担無し で設置することも可能である。
日常の維持管理体制	◆ 設備の定期的なメンテナンスは不要。 ◆ 充電サービス提供会社が、機器故障及び利用者からの問合せに対応。	◆ 料金徴収及び問合せ窓口の一元化により、 管理コストを軽減 できると同時に、 利用者にとっても分かりやすいもの となる。
トラブル対策	◆ 充電サービス提供会社のアプリを介し、 予約機能 を設けるとともに ユーザー認証 により 不正利用を防止 。	◆ 不正利用防止と利便性向上 が、利用者満足度の向上につながる。



施設 基本情報

野田マンション

豊橋市野田町字野田17-4

【施設形態】	既築・賃貸
【設置時期】	2024年10月
【設置場所】	平面駐車場（屋外）
【充電器の種類】	普通充電（6kW）2基
【利用可能時間】	24時間（入居者のみ）
【駐車場区画数】	88区画

事例No.4 レゾンシティ南岡崎

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

高騰しつつあるガソリンを使い続けることに比べ、EV・PHVは燃料代節約効果があるため、EV・PHVが普及することで入居者の満足度向上にもつながると考えます。
充電器設置による資産価値向上が期待できます。（レゾンシティ南岡崎 役員様）



事例情報



ポイント

設
置

運
用

目的・きっかけ	◆ マンションの資産価値向上のため、外部コンサルタントからの提案を受け、設置を検討。 ◆ コストを具体的に試算し、補助金を活用し設置。	◆ 管理組合や入居者との合意形成を円滑に進めるため、充電器の導入効果および導入コストを具体的に示すことが重要である。
主な関係者	◆ 理事会で設置の方針を検討、更新費を含む具体的なコストを試算。 ◆ 入居者向け説明会(任意参加)を実施。	◆ 設備の利便性や維持費負担の透明性を明確にし、入居者の理解と支持を得る機会が重要である。
場所の選定	◆ 駐車場の全体ではなく一部分の整備であり、施工費を抑えるため、電柱から近い区画に設置。	◆ 一部分の整備のため、EV・PHV購入者が充電器を利用できるように区画を交換するルール作りが必要である。
期間・コスト	◆ 検討から1年余りで設置。 ◆ 設置費：約727万円 ◆ 補助金：国 約678万円	◆ 計画段階から、理事会を始めとする関係者間で早期に計画内容を共有することで、合意形成を迅速化できる。
留意点	◆ 設置基数が限定されるので、総会で丁寧に説明し決議。	◆ 入居者の理解を得るには将来的な利便性や資産価値の向上を示すことが重要となる。
料金の設定	◆ 電力量に応じた月額定額制（超過分は電力量に応じ、従量課金）。 ◆ 利用料の徴収及び電気代支払いは充電サービス提供会社が実施。	◆ 従量課金制の場合、充電量に応じて課金されるため、利用者の安心を確保できる。
日常の維持管理体制	◆ ブレーカーの管理は20年に1度程度。 ◆ その他の設備の定期的なメンテナンスは不要。	◆ 普通充電器は管理コストや維持管理の作業負担が小さく、初期投資に対する費用対効果が高いと思われる。
トラブル対策	◆ 今後、初めて利用する方に向けたアプリ操作の補助が必要になる可能性あり。	◆ トラブル削減のためにも、充電器利用に係る簡易マニュアル作成や説明会の実施といった機器操作の支援体制整備を検討するとよい。



施設 基本情報

レゾンシティ南岡崎

岡崎市柱曙1丁目2-1

【施設形態】	既築・区分所有
【設置時期】	2024年2月
【設置場所】	自走式立体駐車場
【充電器の種類】	普通充電（3.2kW）20基
【利用可能時間】	24時間（入居者のみ）
【駐車場区画数】	80区画

事例No.5 株式会社鈴木文具

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

営業車へのEV導入と充電器の設置を補助金を活用して一体的に行うことで、導入コストを削減できるほか、燃料代の節約につながります。また、給油時間が削減でき、業務の効率化も期待できます。（株式会社鈴木文具 ご担当者様）



事例情報

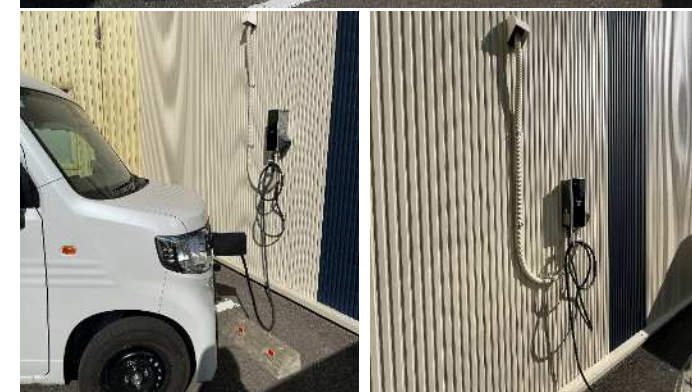


ポイント

設置

目的・きっかけ	◆ <u>ディーラーから、EVの燃料代節約効果や補助金活用についてアドバイスあり。</u> ◆ 利用状況に合う車種があり、EV導入を決定。 ◆ 基礎充電を主体とするため、<u>EV導入に併せて、駐車場に充電器を設置。</u>	◆ <u>利用状況、コスト管理等を総合的に判断し、導入する車種を選定する必要がある。</u> ◆ <u>EV導入と同時に充電器の設置を進める</u>ことで、スムーズな運用が可能となる。
検討プロセス	◆ <u>営業車の運用面を考慮し、普通充電器の中でも比較的出力数が大きく充電時間が短い機種を選定。</u>	◆ EV導入時は、<u>車両の走行距離、充電頻度、稼働パターンを事前に試算</u>し、業務に適した充電器を選定することが重要である。
留意点	◆ 施工性を踏まえて、充電器の設置場所を検討。 ◆ <u>今後のEV営業車増車に備え、電気容量を確保</u>するための工事を実施。	◆ <u>配電盤の負荷試算を事前に実施し、必要な配線・ブレーカー容量を設定</u>することが重要である。 ◆ <u>EVの増車に備え、充電器の増設が可能なスペースや電気容量を確保</u>するとよい。
料金の設定	◆ 主に営業車の充電に使用。 ◆ 地域への貢献として、<u>災害時の蓄電池としての活用</u>も想定しており、100Vの出力ができる<u>外部給電器</u>も併せて購入。	◆ 車両への充電だけでなく、<u>災害時の電力供給拠点としての活用可能性</u>も検討するとよい。
トラブル対策	◆ <u>トラブルが発生した場合、会社側で個別に対応。</u> ◆ 設置後、特にトラブル無し。	◆ 充電器の故障や不正利用等のトラブルが発生した場合に、<u>迅速に対処できるような社内体制</u>を構築しておくことが重要である。

運用



施設基本情報

株式会社鈴木文具

蒲郡市旭町7番17号

【設置時期】	2025年1月
【設置場所】	平面駐車場（屋外）
【充電器の種類】	普通充電（6kW）1基
【利用可能時間】	制限無し
【駐車場区画数】	42区画

事例No.6 日東工業株式会社 瀬戸工場

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

企業における充電器の設置は、自社の環境配慮の取組のアピールになります。
まずは数基の導入で試行し、水平展開していくとよいと思います。
(日東工業株式会社 ご担当者様)



事例情報



ポイント

設置

運用

目的・きっかけ	◆ 太陽光発電システムの設置やカーボンフリー電力の購入により100%再生可能エネルギーで電力を賄う、<u>サステナビリティを重視した最先端の工場を目指す中で、充電器も整備。</u>	◆ <u>100%再生可能エネルギーで電力を賄うことで、脱炭素化を加速できる。</u> ◆ 企業経営では、環境に配慮した取組など、ESG経営が重要となる。
検討プロセス	◆ 工場新設時に本部主導で設置を決定。 ◆ 環境配慮型工場として、EV・PHV社用車や従業員通勤車・来客用に大規模な設置を実現。	◆ 充電器の整備は、視認性の高い環境対策として、取引先や市場へのアピールにつながる。
留意点	◆ 設置基数が多いため、電力確保が課題。 ◆ 遠隔コントロールで充電器の稼働スケジュールや出力調整の設定が可能な充電器を採用し、電力を制御。 ◆ 工場レイアウトの設計に併せて、充電設備の設置場所を検討。	◆ 普通充電器であっても、設置基数及び駐車状況によっては、一斉に充電器が稼働することによるデマンド超過のリスクがある。 ◆ 充電時間や出力をコントロールする機能を備えた充電器により、効率的な運用ができる。
料金の設定	◆ 従業員には、充電時間により課金。 ◆ ID別に充電時間データの取得ができる機能を備えた充電器により従業員別に利用状況を把握し、給与から天引き。 ◆ 来客者には無料で開放。	◆ 従業員にとって、職場での充電は、利便性の向上だけでなく、割安な法人契約の電気料金適用による自宅充電や外部充電と比較したコスト削減効果も期待できる。
トラブル対策	◆ 充電ケーブルの故障を防ぐため、ケーブルの巻き取りが可能なリールを設置。	◆ 充電器の故障要因として、充電ケーブルの故障が多く挙げられる。不特定多数の利用者が使用する場合は、特に傷みが早く、断線が起きやすくなる傾向にあり、利用マナーの周知や周辺設備の工夫が必要である。



写真提供：日東工業株式会社



施設基本情報

日東工業株式会社 瀬戸工場

瀬戸市八床町22-4

【設置時期】	2023年10月
【設置場所】	平面駐車場（屋外）
【充電器の種類】	普通充電（6kW）30基
【利用可能時間】	6:30～21:30
【駐車場区画数】	500区画

事例No.7 八洲建設株式会社

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

充電器の導入により、社用車・社員通勤車のEV化が進み、燃料代の節約効果がありました。
また、災害時の非常用給電設備確保、さらには社員の満足度向上、人材獲得にもつながる多角的な導入効果があると考えます。（八洲建設株式会社 ご担当者様）



事例情報



ポイント

設置 運用	目的・きっかけ	◆ 「未来に誇れる街づくり」を掲げる経営理念のもと、<u>社員から充電器設置の提案</u>があり、実現。 ◆ <u>地域貢献のため、非常時の電気供給としての活用</u>も検討。	◆ EVユーザーの<u>従業員や顧客・取引先の満足度向上</u>だけでなく、カーボンニュートラルやSDGs達成に貢献し、<u>企業としての環境に配慮した取組のアピール</u>にもつながる。
	検討プロセス	◆ 本社「ZEB」※改修工事に伴い、<u>ソーラーカーポートや蓄電池の整備等</u>を実施し、<u>給電能力を強化</u>。 ◆ 急速充電器の導入による<u>デマンド超過の対策</u>として、蓄電池を導入。 ◆ 経営理念に合致しているため、時間を要せずに社内で意思決定。	◆ 特に急速充電器を導入する場合、<u>安定的な運用のため、デマンド超過を抑制する仕組み</u>が必要である。 ◆ <u>ソーラーと蓄電池の組み合わせ</u>により、<u>ESG経営を実現するモデル</u>を構築できる。
	留意点	◆ 補助金申請スケジュールに併せて導入。 ◆ 駐車場に重機が入ることもあるため、配電方法を検討し、<u>架空配線ではなく地中配線</u>を採用。	◆ 業態によって、<u>駐車場の特殊事情</u>を考慮した設計が必要となる。設計の自由度を確保しつつ、<u>補助金要件を満たす調整</u>が必要である。
	料金の設定	◆ 従業員、来訪者ともに<u>無料で開放</u>。 ◆ 充電器利用分の<u>電気代は会社負担</u>。	◆ 充電器は<u>来訪者から分かりやすい位置に設置</u>されることが多く、<u>取引先や地域住民へのアピール</u>となる。
	トラブル対策	◆ トラブルが発生した場合、充電器メーカーへの問合せ等、<u>会社側で個別に対応</u>。 ◆ 完成して2年弱だが、特にトラブル無し。	◆ 会社が初期対応を行うことで<u>迅速な初動対応が可能</u>となる。 ◆ <u>社内の対応フローが確立</u>されていることが望ましい。

※先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物。（経済産業省資源エネルギー庁「ZERO-ドマップ検討委員会とりまとめ」（2015年12月）における定義）



施設 基本情報

八洲建設株式会社

半田市吉田町1丁目60番地

【設置時期】	2023年2月
【設置場所】	平面駐車場（屋外）
【充電器の種類】	急速充電（30kW）1基 普通充電（6kW）3基
【利用可能時間】	従業員:制限無し 来訪者:8:00～17:00
【駐車場区画数】	75区画

事例No.8 豊田市役所 足助支所

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

山間地における電気自動車の利便性を向上させるため、足助支所に充電器を設置しました。
地域の実情や社会課題の内容等を踏まえて、脱炭素化に取り組むことが重要です。
（豊田市 ご担当者様）



事例情報



ポイント

設置

目的・きっかけ	山間地における電気自動車の利便性の向上のために設置。	行政が率先して充電器を導入することで、充電インフラの整備を促進することができる。
検討プロセス	- 市街地から道の駅「どんぐりの里」までの電欠を防ぐため中間地点の足助支所の設置を検討開始。 - 豊田市、充電サービス提供会社で協議。 - 短時間で充電可能な急速充電器を選択。 - 国の補助金を活用。	- 地域の実情を踏まえた環境対策として、市民への啓発につながる。 - 充電時間を短縮することで、短時間でも利用しやすくしている。 - 国の補助金を活用することで、経済的に充電器を設置することができる。
留意点	- 足助の街並みの景観を損なわないよう配慮した配色を選択。 - 経路充電器として利用されるような制御・取り組みが必要。	- 充電器は景観条例に準拠した色にラッピングし、調和をもたせた。 - 長時間占用されないように、充電時間を30分を限度時間と定めた。 - 観光協会と連携したキャンペーンを実施し、充電器の周知を行った。
料金の設定	- 充電時間により課金。 - 利用料の徴収及び電気代支払いは豊田市が実施。	料金は他市や周辺の充電器の金額と差がないように設定している。
トラブル対策	トラブルが発生した場合、利用者が充電器メーカーへ、直接問合せ。	専門知識を有さない行政では即対応が難しいが充電器メーカーが対応することで迅速な対応を可能としている。

運用



写真提供：豊田市



施設基本情報

豊田市役所 足助支所

豊田市足助町宮ノ後26-2

【設置時期】	2024年12月
【設置場所】	平面駐車場（屋外）
【充電器の種類】	急速充電（50kW）1基
【利用可能時間】	平日の8:30~17:15 （足助支所の開庁時間）
【駐車場区画数】	153区画

事例No.9 道の駅 とよはし

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

これまでの急速充電器に代わり、電気自動車の超急速充電サービスによる
利用者の料金需要性等を検証するために設置しました。蓄電池型充電器とすることで、
電力系統への負荷を下げることに環境に配慮した取組にもつながります。（豊橋市 ご担当者様）



事例情報



ポイント

設置

運用

目的・きっかけ	◆ 超急速充電器の設置による利用者の料金需要性等を検証するために設置。	◆ 行政が率先して充電器を導入することで、充電インフラの整備を促進することができる。
検討プロセス	◆ 豊橋市、(株)道の駅とよはし、(株)パワーエックスなどを始めとする各関係者で実証実験に向けて協議。 ◆ 実証実験を行い、料金と需要のバランス等を検証。	◆ 地域の実情を踏まえた環境対策として、市民への啓発につながる。
留意点	◆ 充電器を更新したため、これまでと同じ場所に設置。 ◆ 検討から設置までの期間は、約1年。 ◆ 補助金交付見込み：国 約780万円	◆ 超急速充電器を設置することで、従来のEV充電器より充電時間を短縮することができ、利便性を高めることができる。 ◆ 蓄電機能を有しており、災害時等における活用を検討している。
料金の設定	◆ 電力量に応じた従量課金制。 ◆ 利用料の徴収及び電気代支払いは充電サービス提供会社が実施。	◆ 充電する時間、支払金額等を利用者が決めることができる。
トラブル対策	◆ 充電サービス提供会社のアプリによる完全予約制。 ◆ トラブルが発生した場合、充電サービス提供会社への問合せ等、施設側で個別に対応。	◆ 予約制にすることで、待ち時間なく利用することができ、ユーザーの満足度向上につながる。 ◆ 充電器メーカーが充電サービス提供もを行っているため、トラブルへの対応がしやすい。



写真提供：豊橋市

施設 基本情報

道の駅 とよはし

豊橋市東七根町字一の沢113番地2

【設置時期】	2025年1月
【設置場所】	平面駐車場（屋外）
【充電器の種類】	超急速充電（150kW）1基
【利用可能時間】	24時間（有料会員については予約制）
【駐車場区画数】	258区画

事例No.10 三河湾国定公園 三谷温泉 平野屋

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

EVの普及に伴い充電インフラの整備が宿泊施設自体の評価向上につながるでしょう。

補助金の制度も活用し、充電インフラを整備するのがよいと考えます。

（三河湾国定公園 三谷温泉 平野屋 代表者様）



事例情報



ポイント

設置

運用

目的・きっかけ	◆ <u>温泉旅館振興協同組合がとりまとめ</u>をし、地域の旅館一帯が補助金を活用して充電インフラを整備。 ◆ 設置当時は、EV普及途上であったが、<u>今後環境への取組が重要になることを見越し、時代に先駆けて導入。</u>	◆ 地域全体の充電インフラ設備整備が<u>観光客・来訪者の利便性を向上させ地域全体の競争力を高める。</u> ◆ 早期導入・先行投資が、<u>環境配慮施設としての先進的なブランド確立</u>につながる。
場所の選定	◆ 宿泊客等のために、<u>入口付近にバスを停車させることを考慮し</u>、コストがかかるものの、往来を妨げない場所に充電器を設置。 ◆ 充電器の設置にあたり、配電盤を増設。	◆ 設置費用は場所条件により増減するため、事前に<u>十分なコスト見積もり</u>が必要である。 ◆ 設置場所を検討する際は、<u>動線・アクセス性・コストの総合的な評価</u>が必要である。
期間・コスト	◆ <u>検討から1年未満</u>で設置。 ◆ 設置費：約180万円※ ◆ 補助金：県 約90万円※ ※他宿泊施設含めた5基分の費用	◆ <u>繁忙期及び施設利用時間を考慮した工事計画</u>とすることで、<u>通常運営や利用者への影響を最小化</u>することができる。
留意点	◆ 宿泊施設は、チェックイン後の夕刻の時間帯で電力需要が上がる。<u>デマンド超過のリスクがあるため、電気料金の契約形態の工夫が必要。</u>	◆ 商業施設・宿泊施設においては、デマンドコントロールのため、<u>利用者の行動パターンを分析し、電力需要に基づいた契約や設備設計が重要</u>となる。
料金の設定	◆ 宿泊者に対し、<u>無料で開放。</u>	◆ 無料開放によるコスト負担は発生するが<u>施設への満足度や再訪率の向上、待ち時間を活用した売り上げ向上</u>等の効果が期待できる。
トラブル対策	◆ 利用時は、<u>旅館側がマスターカードを使い充電器を稼働。</u>	◆ 施設側が充電器を稼働させることで、<u>利用時のトラブルを未然に防ぐ</u>ことができる。



施設基本情報

三河湾国定公園 三谷温泉 平野屋

蒲郡市三谷町南山1番地21

【設置時期】	2013年8月
【設置場所】	平面駐車場（屋外）
【充電器の種類】	普通充電（3kW）1基
【利用可能時間】	7:00～19:00
【駐車場区画数】	70区画

事例No.11 瑞穂公園 第1駐車場地上部

基礎充電（集合住宅等）
基礎充電（事務所・工場等）
経路充電（道の駅等）
目的地充電（商業施設、宿泊施設等）

公共施設への充電器設置の課題整理や、運用方法の検討のためのモデル事業として瑞穂公園への設置・運用を行います。この結果を踏まえて、**公共施設における適切な運用方法等**を検討し、充電器の普及を図ります。（名古屋市 ご担当者様）



事例情報



ポイント

目的・きっかけ

- ◆ 大気環境改善、温室効果ガス排出削減に向けて、EV等及び充電器の普及を推進。

- ◆ 電気自動車等及び充電器の普及を**同時に進めていくことが重要**である。
- ◆ **行政が率先して充電器を導入**することで、充電インフラの整備を促進することができる。

検討プロセス

- ◆ 運営方法や利用率など課題が多く、**施設管理者（PFI事業者）だけでは設置についての検討が困難**。
- ◆ モデル事業として実施し、**課題の整理や解決方法、運用方法を検討**。

- ◆ 観光施設や公園、スポーツ施設管理者等の関係者と連携を図り、充電器の設置を進めるとよい。
- ◆ モデル事業の成果を他の公共施設へ展開する。

留意点

- ◆ 設置する駐車場や口数、運用方法等について提案を募集し、充電サービス提供会社を選定。
- ◆ **名古屋市、充電サービス提供会社、PFI事業者の3者で協定締結**。
- ◆ 設置は3年に分けて行い、それぞれ8年間運用。

- ◆ **駐車場が不足している施設や、駐車場が複数個所に分かれている施設**における設置・運用方法を検討することが求められる。
- ◆ 設置には、**国の補助金を活用し、効率的に実施**するとよい。

料金の設定

- ◆ **電力量**により課金。（3kW、6kWを選択可能）
- ◆ 二次元コード決済可能。
- ◆ **充電に係る電気は新規で引き込み**。利用料の徴収及び電気代支払いは充電サービス提供会社が実施。

- ◆ 従量課金制とすることにより、**公平性の高いサービス**を提供している。
- ◆ 新規引き込みをした電気の契約者を充電サービス提供会社とすることにより、**市やPFI事業者の電気料金の負担を軽減**する。

トラブル対策

- ◆ 故障等のトラブルが発生した場合、充電サービス提供会社が対応。
- ◆ Q & Aを作成し、三者で共有。

- ◆ 駐車待ちの渋滞が発生している中での設置・運用であることから、充電器を設置した駐車マスを「充電専用」とせず、柔軟に対応する。



写真提供：名古屋市

施設基本情報

瑞穂公園 第1駐車場地上部

名古屋市瑞穂区萩山町4丁目1番地

- 【設置時期】 2024年11月
- 【設置場所】 平面駐車場（屋外）
- 【充電器の種類】 普通充電（6kW）4基
- 【利用可能時間】 24時間（7:45～21:45以外の時間は入庫不可。出庫は可能）
- 【駐車場区画数】 60台（第1駐車場地上部）